



祝・ユネスコ無形文化遺産登録

伝統建築工匠の技

りんしゅんかく へいせい ねんど ほせんしゅうり こうじ じっし
臨春閣では平成30年度より、保存修理工事を実施して
います。劣化した檜皮葺・柿葺の屋根を葺き替える屋根
葺き替え工事と、建物を大きな地震に耐えられるように
丈夫にする耐震補強工事です。

重要文化財 臨春閣
保存修理事業



We are working on the construction of Rinshunkaku now from 2019. It is a re-roofing construction to make a new 'hiwada' roofing and 'kokera' roofing and seismic reinforcement construction to make this villa strong not to distroy by the huge earthquake.

ほんこうじ めだま ひわだぶき こけらぶき やね ふきかえ こうじ ひわだぶき こけらぶき かんとう たいへんめずら さん
本工事の目玉は「檜皮葺・柿葺屋根の葺替工事」。檜皮葺も柿葺も関東では大変珍しいもので、三
けいえん ふきかえ こうじ おこな きんねんまれ だいきぼ こうじ おお ちゅう
溪園では葺替工事はおよそ30年ごとに行っていますが、近年稀にみる大規模な工事として大きな注
目を集めました。工事は天候に左右されず行えるよう工事用の仮設覆い（=素屋根）の中で行われ
ているため作業の様子はなかなかご覧いただけませんが、見事葺きあがった屋根は今夏にはようや
く全体がお目見えとなる予定です。葺きあがったばかりのつややかな表面と、エッジの効いたきれ
いな曲面は今だけのお楽しみ。職人さんの妙技に思いを馳せながらじっくりとご鑑賞ください。

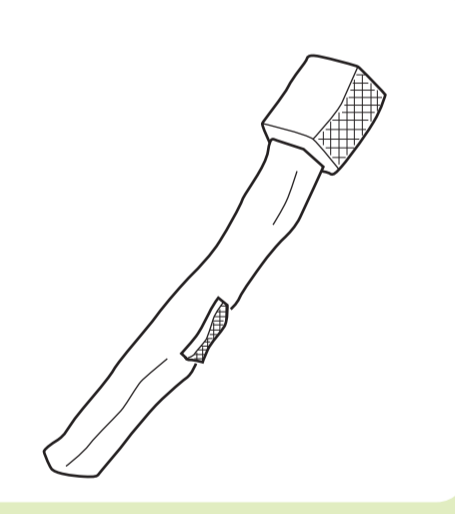


◀ 檜皮葺施工の様子（平部分）
▼ 柿葺施工の様子（隅部分）

ひわだぶき ひのき じゆひ こけらぶき うす わ き
檜皮葺は檜の樹皮を、柿葺は薄く割った木
の板を、少しづつずらしながら並べていき、
たけ 竹くぎなどで打ち止めて屋根を形作って
いきます。しなやかな植物材料だからこそ作
り出せる曲面、材料の特性を生かした屋根
としての性能。日本が誇る伝統技術です。



かなづち



竹くぎを叩き打つ時に使
います。竹くぎと一緒に握り
こんで使うので、柄の形は
使う人により様々。使い勝
手が良いように、一般に柄
は自作するそうです。



竹くぎの打ち方

- ①口に含んだ竹くぎを、尖っている方を内側にして一本ずつ口から出します。
- ②口から出したくぎを、かなづちの柄と一緒に握りこみ、柄の途中の金具を使って押し込みます。
- ③押し込んだ竹くぎを、かなづちの上の部分で「トントン」と叩いて打ち付けます。

